GE2-004901～099999、GE3-003801～099999、GE6-003101～099999、GE7-003401～099999、GH2-040801～099999、
GH3-017901～099999、GH6-003301～099999、GH7-010401～099999、GH8-009601～099999

2010年6月以降

ドアポケットに入れてお使いください

IMPREZA

IMPREZA ANESIS

クイックユーザーガイド

このクイックユーザーガイドは、運転者ならびに同乗者の方に
IMPREZA を楽しく安全にお使いいただくためのガイドです。
初めて IMPREZA に触れられるときにぜひご一読ください。

クイック ユーザーガイドは取扱説明書の抜粋版です。必ず取扱説明書をご一読ください。

運転席周辺

フロントワイパー＆ウォッシャー

エンジンスイッチが「Acc」または「ON」のときに使用できます。

OFF：停止
（間欠マーク）：間欠作動
LO：低速連続作動
HI：高速連続作動

●ミスト
レバーを手前に引いている間、ワイパーが作動します。

●間欠作動の時間調整
リングを上に回すと作動間隔が短くなり、下に回すと長くなります。

●ウォッシャー液の噴射
スイッチを押している間、ウォッシャー液が噴射します。ワイパーが1～2回作動します。

リヤワイパー＆ウォッシャー

エンジンスイッチが「Acc」または「ON」のとき使用可能。

（ウォッシャーマーク）：ワイパー作動中にウォッシャー液を噴射
ON：連続で作動
INT：間欠作動（車速に応じて変化）
OFF：停止
（ウォッシャーマーク）：ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが作動。手を離すと「OFF」に戻ります。

ハザードランプスイッチ

スイッチを押すと方向指示器のランプが点滅します。
再度押すと消灯します。

Info-ECOモードスイッチ

Info-ECOモードを選択するスイッチです。燃費の良い走りのとき、メーター内Info-ECO表示灯が点灯します。

チルト／テレスコピックステアリング

運転姿勢に合わせてハンドル位置を前後または上下に調整できます。（チルトステアリングの車は上下のみの調整となります。）

①チルト／テレスコピックレバーを押し下げます。
②ハンドル位置を合わせます。
③レバーを引き上げます。
④ハンドルが固定されたことを確かめてください。

ライティングスイッチ

OFF：消灯
ƐDOƎ：車幅灯、尾灯、番号灯が点灯
≡D：上記 ƐDOƎ 時に点灯のランプに加えて、ヘッドランプが点灯

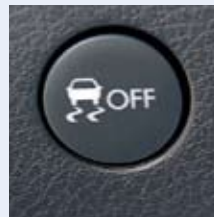
●ヘッドランプの上下を切り替える
レバーを前に押すと上向き、戻すと下向きになります。

●パッシング
レバーを手前に引いている間、ヘッドランプは上向きになります。

※電源を「OFF」、またはキーを抜くと、ライトは消灯しますが、ライティングスイッチを一旦「OFF」にして再度 ƐDOƎ または ≡D 位置にすると電源OFF状態でもランプが点灯します。
※車から離れるときは、バッテリー上がりをふせぐため、必ずライティングスイッチを「OFF」にしてください。

フロントフォグランプスイッチ ✤

ライティングスイッチが ƐDOƎ または ≡D のときに使用できます。
OFF：消灯
≢D：フロントフォグランプが点灯

VDC OFFスイッチ ✤

VDC（ビークルダイナミクスコントロール）システムを一時的に「OFF」にしたい場合に押します。作動可能状態に復帰させるときには、もう一度 VDC OFF スイッチを押します。

※通常は「ON」でご使用ください。「OFF」にする場合については取扱説明書をご覧ください。

クルーズコントロール ✤

アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つことができる機能です。CRUISE スイッチ 1 を押すとクルーズコントロールが作動可能になります。作動停止するときはスイッチをもう一度押します。

●速度をセットするとき
希望する車速のときに SET/COAST スイッチ 2 を押します。

●一時解除
ブレーキペダルを踏む、または CANCEL スイッチ 3 を押します。

●一時解除の復帰
RES/ACC スイッチ 4 を押します。

●セット車速の調整
セット車速を上げるときは RES/ACC スイッチ 4 を、下げるときは SET/COAST スイッチ 2 を希望速度まで押し続けます。

運転席周辺

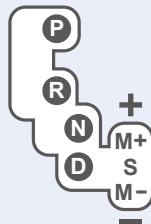
インフォメーションメーター／時計

エンジンスイッチが「ON」のとき、外気温度計と瞬間燃費計または平均燃費計A、B を表示します。
瞬間燃費計と平均燃費計 A、B はメーター右下のトリップ切り替え／トリップリセットノブ※ を押して切り替えます。
燃費計は非表示にすることもできます。取扱説明書４章を参照してください。
※ノブの場所は P9～10 の表示灯・警告灯のページを参照してください。

時計表示は写真右端の「＋」「－」ボタンで合わせます。

チェンジレバー（MT車）

変速するときは、クラッチペダルをいっぱいに踏み込んで確実に操作してください。

セレクトレバー（AT車）

Ⓟ：**パーキング**（駐車およびエンジン始動位置）
Ⓡ：**リバース**（後退位置）
Ⓝ：**ニュートラル**（中立位置）
Ⓓ：**ドライブ**（通常走行位置）

●スポーツモード
セレクトレバーがⒹのときレバーをマニュアルゲートに移動させるとスポーツモードになり、メーター内の SPORT 表示灯が点灯します。

●マニュアルモード
セレクトレバーをⒹからマニュアルゲートに動かし、**M＋**あるいは**M－**方向に移動させるとマニュアルモードになります。

オーディオリモートコントロールスイッチ

ステアリングホイールから手を離さずにオーディオの操作ができます。
詳しくは取扱説明書４章をご覧ください。

プッシュエンジンスイッチ

P6「プッシュスタートシステム」を参照してください。
詳しくは取扱説明書２章をご覧ください。

★一部グレードのみに装着されている機能・装備ついては マークがついています。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。

イルミネーションコントロールダイヤル

メーターなどの明るさを調整できます。上方向に回すと明るくなります。

〈ブライト（減光キャンセル）機能〉
ダイヤルを一番明るい段階から、さらに上方向（ 目盛りの丸部分）に回すと、ライト点灯しても表示部の照明は減光しません。

マニュアルヘッドランプレベラー

ヘッドランプの照らす高さを下げることができます。（通常はダイヤル0の位置で使用）
乗車人数、荷物の積載状態に応じて、ダイヤル位置を調整してください。

ドアミラーの調整

●電動リモコンドアミラー
左右切り替えスイッチ L R で調整するミラーを選び、角度調整スイッチ MIRROR で後方を充分確認できる位置に調整します。

●電動格納
スイッチ を押すと左右のミラーが同時に格納され、再度押すと元に戻ります。

パワーウインドゥの操作

●運転席ウインドゥスイッチ
開けるときは押し、閉めるときは引き上げます。強く操作すると自動で作動します。

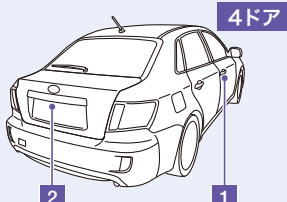
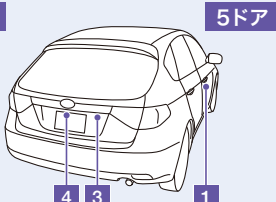
●助手席、後席ウインドゥスイッチ
開けるときは押し、閉めるときは引き上げます。

●ロックスイッチ
ロックスイッチを押すと助手席と後席のウインドゥは開閉できなくなります。

ドア、トランクまたはリヤゲートの施錠・解錠／プッシュスタートシステム

キーレスアクセスによるドア、トランクまたはリヤゲートの施錠・解錠

● ドアハンドル

アクセスキーを携帯し、運転席または助手席のドアハンドルを握ることですべてのドアおよびリヤゲートの解錠ができます。

※心臓ペースメーカーなど医療用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。詳しくは取扱説明書2章をご覧ください。

※強い電波ノイズがあるときや、アクセスキーの電池残量が少なくなったときは、アクセスキーで操作できないことがあります。

アクセスキー

また、以下のスイッチを押すことでドア、トランクまたはリヤゲートの施錠・解錠ができます。

● ドアハンドルのリクエストスイッチ 1
すべてのドアおよびリヤゲートの施錠

● トランクオープナーリクエストスイッチ 2
トランクの解錠

● リヤゲートのリクエストスイッチ 3
すべてのドアおよびリヤゲートの施錠

● リヤゲートオープナースイッチ 4
リヤゲートの解錠・開扉。すべてのドアの解錠

電波式リモコンドアロックによるドア、トランクまたはリヤゲートの施錠・解錠

アクセスキーまたはリモコンキーのボタンを押すと電波により、車から離れたところからすべてのドアおよびリヤゲートの施錠・解錠ができます。

- :すべてのドア(およびリヤゲート)の施錠
- :すべてのドア(およびリヤゲート)の解錠
- :リヤゲートの解錠(5ドア)
  1.5秒以上長押しでトランクの解錠(4ドア)

盗難防止機能

●盗難警報装置(設定方法は取扱説明書2章をご覧ください。)

キーレスアクセス機能またはリモコン操作でドアを施錠後、キーレスアクセス機能またはリモコン操作以外でドアが開けられたとき、警報が作動します。警報が作動したときは、次のいずれかの操作で解除できます。

〈キーレスアクセス&プッシュスタート装着車〉
・アクセスキーのいずれかのボタンを押す。
・アクセスキーを携帯し、リクエストスイッチを押す。
・電源状態を「Acc」にする。

〈キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外〉
・リモコンキーのいずれかのボタンを押す。
・エンジンスイッチを「ON」にする。

●イモビライザー(盗難防止用エンジン始動ロックシステム)

車両の盗難防止のため、登録されたキー以外ではエンジンの始動ができません。

※キーの登録、システムの点検などの際には、セキュリティIDが必要となります。セキュリティIDプレートは、車内以外の場所に大切に保管してください。
※キーナンバープレートはキーをつくるときに必要ですので、大切に保管してください。

セキュリティIDプレート

キーナンバープレート

プッシュスタートシステム

アクセスキーを携帯して車内に入ると車両の電源の切り替えおよびエンジンの始動ができます。

電源の切り替え

作動表示灯

オートマチック(AT)車はブレーキペダル、マニュアル(MT)車はクラッチペダルを踏まずにプッシュエンジンスイッチを押すと、電源が
OFF→Acc→ON→OFF の順に切り替わります。

作動表示灯の状態

表示	状態	内容
	緑色に点灯	エンジン始動が可能な状態
	橙色に点灯	「ON 」または 「Acc」
	消灯	「OFF」もしくはエンジン回転中
	緑色に点滅	ステアリングロックが解除されていません。 ※解除方法は裏表紙のQ&Aをご覧ください。
	橙色に点滅	システムの故障が考えられます。 直ちにスバル販売店にご連絡ください。

エンジンの始動

●オートマチック (AT) 車

①アクセスキーを携帯し運転席に座ります。
②駐車ブレーキが確実にかかっていることを確認します。
③セレクトレバーが P であることを確認します （N でも始動できますが、安全のため P で始動してください ）。
④プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が緑色になるまで、 ブレーキペダルを踏み込みます（N で始動する場合、作動表示灯は緑色になりません）。
⑤ブレーキペダルを踏んだまま、 プッシュエンジンスイッチを押します。

●マニュアル (MT) 車

①アクセスキーを携帯し運転席に座ります。
②駐車ブレーキが確実にかかっていることを確認します。
③チェンジレバーがニュートラルであることを確認します。
④ブレーキペダルを踏みます。
⑤プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が緑色になるまで、クラッチペダルを踏み込みます。
⑥クラッチペダルを踏んだまま、 プッシュエンジンスイッチを押します。

※強い電波ノイズや、アクセスキーの電池残量不足でアクセスキーが正常に作動しないときのエンジン始動

①セレクトレバーが P 位置（AT車）またはチェンジレバーがニュートラル（MT車）であることを確認し、ブレーキ（AT車）またはブレーキペダルとクラッチペダル（MT車）を踏みます。
②アクセスキーのボタン側を手前に向けて、アクセスキーをプッシュエンジンスイッチに触れるまで近づけます。ブザー音（ピッ）が鳴り、プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が緑色に点灯します。
③作動表示灯が緑色に点灯してから５秒以内に、ブレーキペダル（AT車）またはブレーキペダルとクラッチペダル（MT車）を踏んだままプッシュエンジンスイッチを押してください。

エンジンの停止

車両を完全に停止させ、プッシュエンジンスイッチを押してください。エンジンが停止し、電源が「OFF」になります。
ただし、オートマチック車はセレクトレバーを P に入れてからエンジンスイッチを押さないと電源が「OFF」になりません。

※セレクトレバーの位置が P 以外でエンジンを停止すると、電源が 「Acc」 になり、 バッテリー上がりの原因となります。 車両から離れるときは P 位置でエンジンを停止し、 電源が 「OFF」 になっていることを確認してください。
※走行中3秒以上プッシュエンジンスイッチを押し続けるとエンジンが停止します。 ただし緊急時以外は本操作を行わないでください。

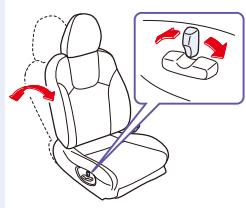
シートの調整

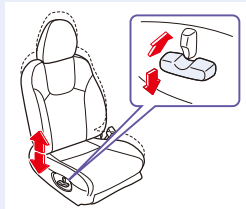
フロントシート（パワーシート）

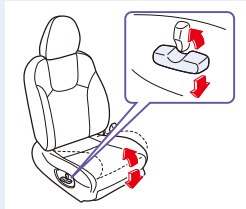
シートのドア側のスイッチ操作で調整ができます。

●前後位置の調整

スイッチ全体を前後に動かして調整します。

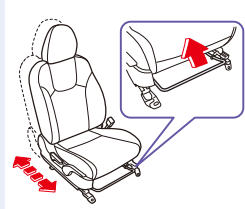
●リクライニング調整

リクライニングスイッチを前後に動かして背当て角度を調整します。

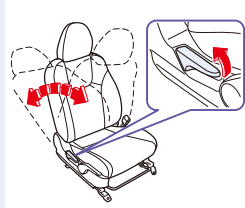
●高さの調整

スイッチの後側を上下に動かしてシートの高さを調整します。

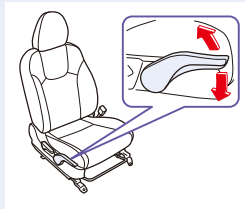
●座面前側高さの調整

スイッチの前側を上下に動かして座面前側の高さを調整します。

フロントシート（マニュアルシート）

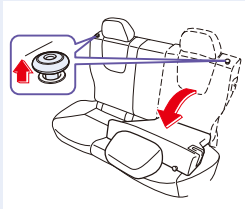
シートのドア側と下部のレバー操作で調整ができます。

●前後位置の調整

前席下部のレバーを完全に引き上げた状態で前後に動かして調整します。

●リクライニング調整

シートのドア側レバーを完全に引き上げた状態で背当て角度を調整します。

●高さの調整（運転席のみ）

レバーを引くたびに上がり、押すたびに下がります。

リヤシート

●背当てを倒し、荷室を広げる

ロックノブを引き上げながら、左右に分割されているシートをそれぞれ倒します。

★一部グレードのみに装着されている機能・装備ついては マークがついています。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。

エアコンの操作

●フルオートでの使いかた フルオートエアコン

フルオートエアコンで、温度調整ダイヤルを希望温度に設定し、吹き出し口切替ダイヤルを「AUTO」、風量調整ダイヤルを「AUTO」位置にするとフルオートエアコンとして使用できます。詳しくは取扱説明書4章をご覧ください。

●吹き出し口切り替え

フルオートエアコン

マニュアルエアコン

：上半身　　：足元と窓ガラスの曇り
：上半身と足元　　：窓ガラスの曇り
：足元

フルオートエアコンの「AUTO」では自動制御されます。
または のときは自動で除湿機能（A/Cスイッチ）が作動し、外気導入に切り替わります。

●温度調整

フルオートエアコン

マニュアルエアコン

室内温度を調整するとき使います。
温度を上げるときは右へ、温度を下げるときは左へ回します。

●風量調整

フルオートエアコン

マニュアルエアコン

風量を調整します。風量を少なくするときは左へ、多くするときは右へ回します。
フルオートエアコンの「AUTO」では適切な風量に自動制御されます。

●リヤウインドゥデフォッガー（曇り取り）

フルオートエアコン

マニュアルエアコン

スイッチを押すごとに「ON/OFF」が切り替わります。約15分後に自動的に「OFF」になります。ヒーテッドドアミラーとフロントワイパーデアイサー装備車は同時に作動します。

●内外気切り替え

フルオートエアコン

マニュアルエアコン

スイッチを押して外気導入/内気循環（表示灯点灯）を切り替えます。フルオートエアコンで一度フルオートに設定されるとその後スイッチを押すまで、外気導入と内気循環が自動制御されます。※1
通常は外気導入または自動制御でお使いください。

●A/Cスイッチ

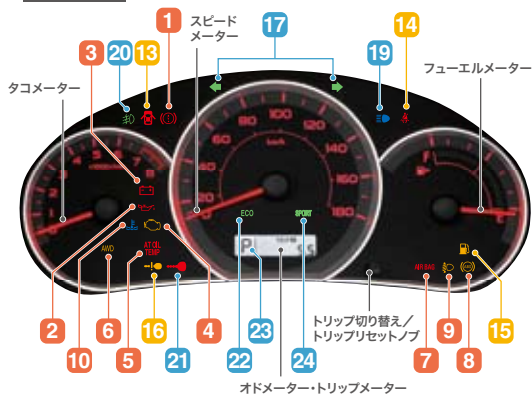
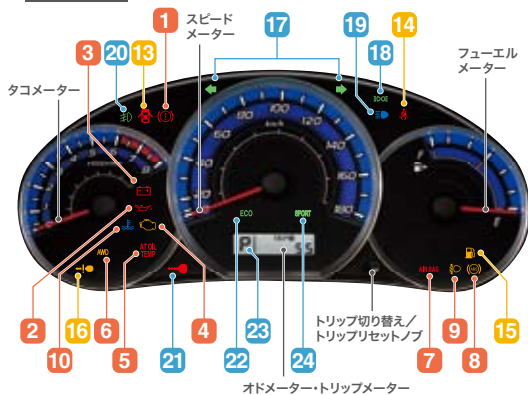
フルオートエアコン

マニュアルエアコン

風量ダイヤルが「OFF」以外／「0」以外のとき、スイッチを押すとエアコン（冷房、除湿）が作動します。
フルオートエアコンで一度フルオートに設定されるとその後スイッチを押すまで、エアコンの「ON / OFF」が自動制御されます。※1

※1 フルオート設定時にA/Cスイッチまたは内外気切替スイッチを押すとその機能はマニュアル作動となります。 再度自動制御にするには、吹き出し口切替ダイヤルまたは風量調整ダイヤルを「AUTO」以外の位置にしてから、「AUTO」位置へ戻してください。

表示灯・警告灯

〈タイプA〉

〈タイプB〉

1 ブレーキ警告灯

駐車ブレーキがかかっているとき点灯。ブレーキ液量が不足しているとき点灯。その他異常があるとき点灯。

2 オイルプレッシャー警告灯

エンジンオイルの圧力に異常があるとき点灯。

5 AT油温警告灯（AT車）

AT OIL TEMP

オートマチックトランスミッションオイルの温度が高くなると点灯。オートマチックトランスミッション異常時に点滅。

6 AWD警告灯（AWDオートマチック車）

AWD

AWD が機能していないとき点灯。異なる径や空気圧の著しく低下したタイヤで走行したとき点滅。

9 オートヘッドランプレベラー警告灯

オートヘッドランプレベラー（自動光軸調整機構）のシステム異常時に点灯。

10 水温警告灯／水温表示灯

オーバーヒート手前で赤色点滅。オーバーヒートで赤色点灯。水温が低いとき青色点灯。異常時は赤／青交互に点灯。

13 半ドア警告灯

ドア、リヤゲート、トランクが完全に閉じていないとき点灯。

14 シートベルト警告灯

運転席シートベルト未着用時に点灯。そのまま 22km/h 以上で走行すると点滅&ブザー。

17 方向指示器表示灯

方向指示器と同じように点滅。ヒューズや電球が切れたときは点滅速度が早くなる。

18 ライティングスイッチ表示灯

ライティングスイッチが ≡D0≡ または ≡D 位置のとき点灯。

21 セキュリティ表示灯

盗難防止機能がはたらいているとき点灯／点滅。
詳しくは取扱説明書を参照。

22 Info-ECO（インフォ・エコ）表示灯

ECO

Info-ECO モードスイッチを押して Info-ECO モードを選択、燃費の良い走行状態のときに点灯。

25 VDC作動表示灯

VDC 作動時は点滅。TCS 作動時は点灯。

26 クルーズコントロール表示灯

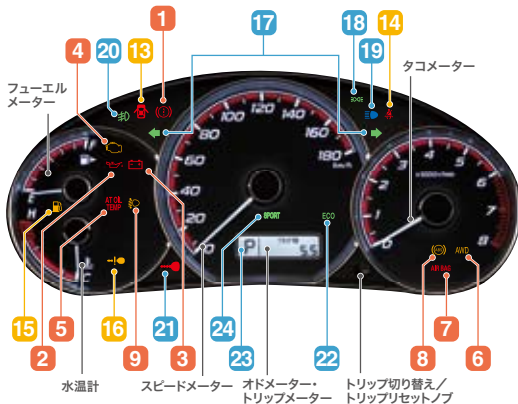
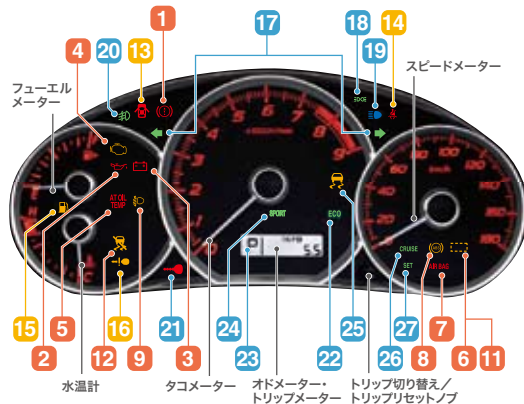
CRUISE

クルーズコントロールのメインスイッチを押すと表示。

★グレードにより装備されていない機能もありますが、レイアウト上全ての表示灯・警告灯を記載しています。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。

〈タイプC〉

〈タイプD〉

1 4 20 13 17 18 14 19
スピードメーター
フューエル
メーター
15 5 16 21 24 25 27 7
2 12 9 3 23 22 26 8 6 11
水温計
タコメーター
オドメーター・
トリップメーター
トリップ切り替え／
トリップリセットノブ

3 チャージ警告灯

充電系統に異常があるとき点灯。

4 エンジン警告灯

エンジン電子制御システム異常時点灯。
触媒を損傷する可能性があるとき点滅。

7 SRSエアバッグ警告灯

エアバッグシステムに異常があるとき点灯。

8 ABS警告灯

アンチロックブレーキシステム(ABS)異常時に点灯。

11 ヒルスタートアシスト警告灯（VDC装着の マニュアル車）

ヒルスタートアシストの制御システムに異常があるとき点灯。

12 VDC警告灯／VDC OFF表示灯

VDC 電子制御システム異常時に点灯(警告灯)。／ VDC OFF スイッチを押してVDCを解除したときに点灯(表示灯)。

15 燃料残量警告灯

燃料残量が約 9 リットル以下になると点灯。
フューエルメーターに異常があるとき点滅。

16 キー無し警告灯（キーレスアクセス＆ プッシュスタート装着車）

車内にアクセスキーが無い場合に点滅。

19 ハイビーム／パッシング表示灯

ヘッドランプが上向きのとき点灯。
パッシング時も点灯。

20 フロントフォグランプ表示灯

フロントフォグランプが点灯しているとき点灯。

23 シフトポジション表示灯／セレクトインジケーター(AT車)

スポーツモードおよびマニュアルモード選択時にギヤ位置を表示／セレクトレバーの位置を表示。

24 SPORT(スポーツ)表示灯(AT車)

SPORT

セレクトレバーを「D」からマニュアルゲートに移動させるとスポーツモードが選択され、点灯。

27 クルーズコントロール車速セット表示灯

SET

クルーズコントロール表示灯が点灯している状態で、速度を設定したとき表示。

1～12	異常時に点灯／点滅。取扱説明書を確認の上、お近くのスバル販売店へご相談ください。
13～16	取扱説明書記載の正しい対応方法に従ってください。
17～27	各装置の状態を示します。

エンジン始動直後は自己診断のため数秒間点灯するものがあります。

GE2-004901～099999、GE3-003801～099999、GE6-003101～099999、GE7-003401～099999、GH2-040801～099999、
GH3-017901～099999、GH6-003301～099999、GH7-010401～099999、GH8-009601～099999

日常点検／Q&A

★点検箇所は搭載エンジンによって異なります。詳細はメンテナンスノート、取扱説明書をご覧ください。

日常点検とは、日頃ドライバー自身の責任で行うように法律で義務づけられた点検です。
安全に走行するために大切な項目ばかりですので、日常点検を実施するように心掛けてください。

点検方法についてはメンテナンスノート 4章をお読みください。

■エンジンルーム内

●下記の項目の内容量を点検してください。

ブレーキフルード
リザーバータンク

エンジンオイル
レベルゲージ

バッテリー

パワーステアリング
フルードリザーバータンク

冷却水リザーバータンク

ウインドゥウォッシャー
タンク

■車のまわり

●タイヤの空気圧／き裂、損傷、異常摩耗がないか／溝の深さを点検します。

4輪とも必ず、指定サイズ、同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄および同一トレッドパターン（溝模様）のタイヤを装着してください。

●各ランプ、方向指示器を作動させ、状態を点検します。レンズの汚れ、損傷も点検します。

■運転席に座って

●駐車ブレーキ機構の引きしろを点検します。
●エンジンのかかり具合、異音の有無を点検します。
●ブレーキペダルの踏みしろを点検します。
●ウインドゥウォッシャーの噴射状態を点検します。
●ワイパーの払拭状態の点検をします。

■走行して

●ブレーキのきき具合を点検します。
●エンジンの低速および加速状態を点検します。
●運行において異常が認められた箇所を点検します。

困った時のQ&A

Q アクセスキーまたはリモコンキーでドアが開かない

A 電波ノイズの影響が考えられます。車に近づいて再度操作をおこなってください。車の周囲約 1m 以内で何度か操作しても開かない場合は、アクセスキーまたはリモコンキーの電池の消耗あるいは故障が考えられます。スバル販売店にご相談ください。

Q ハンドルがロックされている（ステアリングロック）

A **プッシュスタート装着車：**プッシュエンジンスイッチを押すと作動表示灯が緑色に点滅します。ハンドルを軽く左右に回しながら、ブレーキペダルを踏み、プッシュエンジンスイッチを再度押してください。
プッシュスタート装着車以外：ハンドルを軽く左右に回しながらキーを「Acc」「ON」の位置へ回してください。ステアリングロックが解除されます。

Q キースイッチが回らない

A
・ハンドルがロックされているとキースイッチが回しづらいことがあります。ハンドルロックを解除するために、ハンドルを軽く左右に回しながらキーを操作してください。
・セレクトレバーがP位置以外にあると、キーは「LOCK」位置に回せません。セレクトレバーをP位置にしてから操作してください。

●お問い合わせ、ご相談はお近くのスバル販売店、または下記の窓口へお願いいたします。

SUBARUお客様センター
SUBARUコール0120-052215
受付時間：9:00～17:00（平日）
土日祝は9:00～12:00、13:00～17:00
SUBARUお客様センターでは下記の内容を承っております。
(1) ご意見／ご感想／ご案内（カタログ、販売店、転居お手続 他）
(2) お問合わせ／ご相談
※平日の12:00～13:00および土日祝は（1）のインフォメーションサービスのみとなります。

富士重工業株式会社
スバルカスタマーセンターお客様相談部
〒160-8316 新宿区西新宿1-7-2（スバルビル）

●スバル最新情報をインターネットで。
www.subaru.co.jp

お問い合わせは

富士重工業株式会社
スバルカスタマーセンター　カスタマーセンター企画部
〒160-8316 東京都新宿区西新宿1-7-2 スバルビル

発行 2010年6月　Printed in Japan KB
Publication No. F1100JJ-A